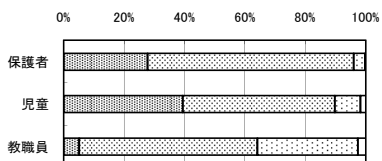


□4-そう思う □3-どちらかといえば、そう思う □2-どちらかといえば、そう思わない □1-そう思わない

学校教育目標

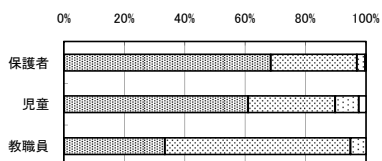
1 教育方針・目標の理解

学校は、教育方針や教育目標などを、子どもや保護者、地域にわかりやすく示していると思いますか。



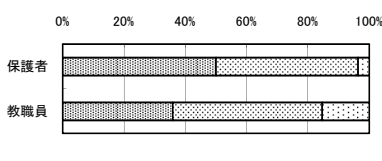
2 意欲的な学校生活

子どもは、楽しい学校生活が送れていると思いますか。



3 教師の連携協力

学校では、先生方が連携協力して教育活動に取り組んでいると思いますか。

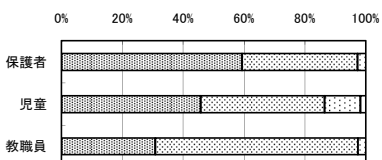


【学校から】○学校の教育方針や教育目標については、年度当初学校便りでお知らせし、5月のPTA総会で学校長より説明を行っている。また、4月の学級懇談会では担任より保護者に説明を行い周知徹底を図っている。教職員の共通理解を確かなものにするために、校内研修等を活用していく必要がある。
○質問2では、学校があまり楽しくないと回答している児童があり、その児童については個別の対応を行い、支援を継続していく必要がある。また、教職員の児童理解に対する研修をおこなっていく。

教科指導

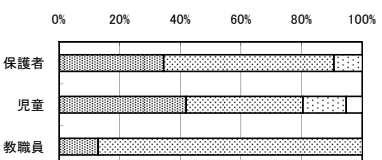
4 授業づくりの工夫

先生方は、わかる授業、楽しい授業づくりに努めていると思いますか。



5 意欲的な学習態度

子どもは、意欲的に授業に取り組んでいると思いますか。

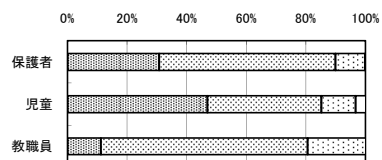


【学校から】○一人一回は必ず公開授業を行い、よりわかる授業の組み立ての研究や、教材開発に取り組んできた。○教師と児童の回答にずれがあり、14パーセントの児童が授業をあまり楽しくないと感じている。評価のあり方を工夫し、児童の心理面も把握していくと共に、児童が成就感を得られるような授業を創造していく必要がある。

総合的な学習の時間

6 総合的な学習の時間の充実

子どもは、総合的な学習の時間に意欲的に取り組んでいると思いますか。

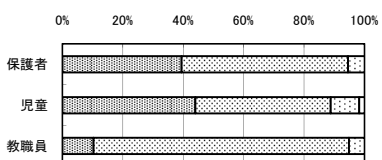


【学校から】○地域とのつながりを深めるために、地域の方から学ぶ機会を増やしてきた。地域に関心を持つ児童が増えてきている。
○自ら課題を見つけ、計画を立てることが苦手な児童については十分な手立てが必要であり、評価のあり方を工夫していく。

道徳教育 心の教育

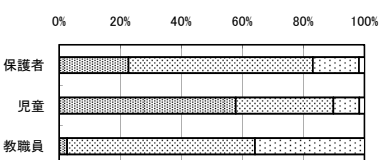
7 道徳、心の教育の充実

学校は、思いやりの心や感謝の心などを大切にしている心の教育の充実に努めていると思いますか。



8 あいさつ、礼儀の励行

子どもは、あいさつがきちんとできていると思いますか。

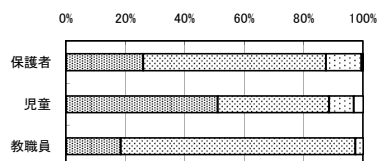


【学校から】○道徳の授業で学んだことを日常化するために、「心かがやけ月間」では、あいさつ運動やボランティア活動に取り組んだ。ボランティア活動を楽しむ児童が増えており、月間後も児童の自主的な活動が続いている。また、高学年による朝の清掃活動は5年続いており、よき伝統となっている。教職員が認め、励ましていく姿勢をもっと確かなものにしていく必要がある。
○「心のかもったあいさつをしよう」という目標をもって、全校であいさつ運動に取り組んでいる。地域でも進んであいさつができるよう、今後も児童の心の涵養を図っていきたい。

人権教育

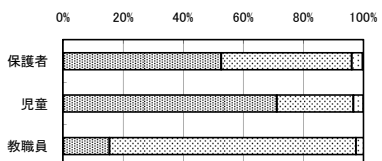
9 一人一人の生徒の尊重

学校は、一人一人の子どもを大切にしている指導や対応ができていますか。



10 友だちへの思いやり

子どもは、友だちとなかよくできていると思いますか。

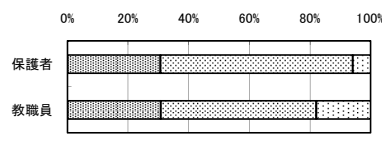


【学校から】○質問9では、保護者・児童と教職員の回答にずれがあり、自分のことを理解してもらえていないと感じている児童が11パーセントいる。個に応じたきめ細やかな指導を工夫改善していくと共に、定期的にアンケートをとり児童理解に努めていく必要がある。
○ほとんどの児童が友だちと仲良くしているが、「そうでない」と回答している3パーセントの児童には、個別指導と学級全体での取り組みを継続していく。

特別支援教育

11 学校の支援体制

学校は、支援を必要とする子どもの教育について、共通理解を図りながら取り組んでいると思いますか。

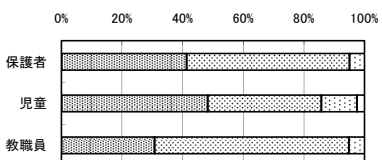


【学校から】○発達障害についての全職員の理解を進めていくために、校内研修での講話や児童理解のための時間を設けてきた。また、個別指導計画についても学期ごとに共通理解を図ってきたが、職員に浸透していない部分については、学期ごとの教育反省を充実させることで補っていく必要がある。

生徒指導 教育相談

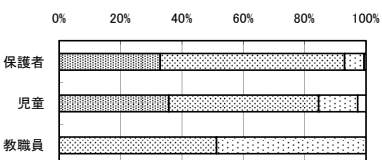
12 生徒理解

先生方は、子どものよさを見つけ、子どもを理解しようとして努めていると思いますか。



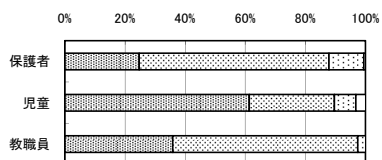
13 規範意識

子どもは、きまりやマナーを守っていると思いますか。



14 いじめや問題への対応

学校では、いじめや問題があったとき、すぐに話を聞いて対応していると思いますか。

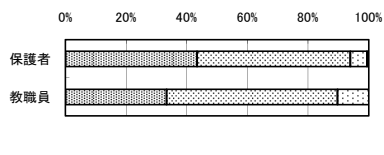


【学校から】○「自分を理解してもらえない」と感じている児童が14パーセントおり、教師との意識にずれがある。認め・ほめ・励ましていく姿勢を児童にしっかりと伝えていく必要がある。
○いじめや問題への対応では、保護者・児童と、教師の意識とにずれがある。児童の心理面をもっと十分に理解するために、定期的な個人面談や相談の回数を増やす必要がある。

健康教育 安全

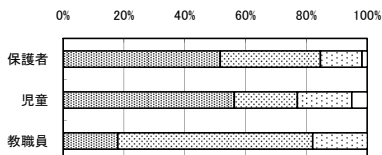
15 安全と事故防止

学校は、子どもの安全と事故防止に努めていると思いますか。



16 体力向上

子どもは、すすんで外遊びやスポーツをしていると思いますか。

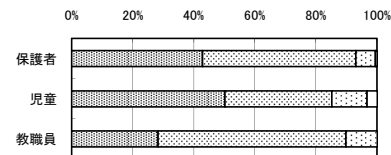


【学校から】○月1回の安全点検と保健衛生検査を欠かさず実施し、不具合のある箇所については、迅速に対処している。また、今年度は不審者対策としてさすまたを3つ、催涙スプレーを15個購入し、使い方について講習会を行った。
○23パーセントの児童が「進んで外遊びやスポーツを行っていない」と回答しており、業間や昼休みには外遊びを奨励していく。

学校行事

17 学校行事への参加と工夫

学校では、運動会や学習発表会などの学校行事が工夫されていると思いますか。

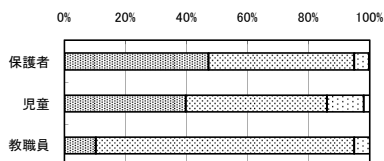


【学校から】○今年度は新型コロナウイルスの影響もあって、保護者や地域の方が楽しみにされている音楽会が中止となったり、見学旅行が延期になったりしたので、行事の形態も再考していく必要がある。

学校環境

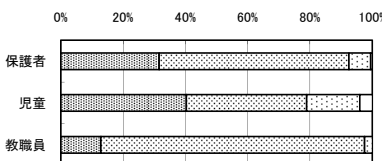
18 環境の整理・美化

学校では、校舎内外（花壇や掲示物など）がきちんと整理されていると思いますか。



19 施設・設備の安全管理

学校の施設・設備は、安全でよく整備・管理されていると思いますか。

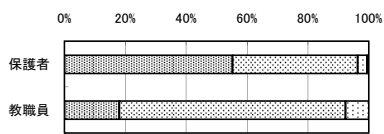


【学校から】○グリーン委員会が中心となって緑化活動に取り組んでいる。地域のボランティアの方のお手伝いもあり、花が昨年より増え、環境が整備されてきた。学校で育てた苗は地域の公園にも植えており、地域の環境整備にも役立っている。
○掲示物は学校行事や季節に合わせて、子どもたちの興味関心をひきつける工夫をしてきた。

情報の公開・発信

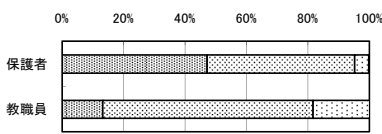
20 学校の予定等がわかる情報発信

学校からの文書等で、学校の情報が十分発信されていると思いますか。



21 教育活動への参加

学校が公開している教育活動（行事、授業等）は、保護者や地域の方が参加しやすいと思いますか。

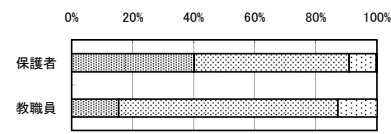


【学校から】○学校全体の様子については学校便り、学年や学級の様子については学年通信や学級通信でお知らせしている。また、他に保健便り、道徳便り（心きらり）、人権教育便り（水平線）等で健康面や学習面、心の教育についてお知らせや啓発を行っており、昨年より周知が図られている。また、緊急を要する連絡については「安心メール」を活用している。
○学級懇談会への保護者の参加が増えるよう、魅力ある学級懇談会のあり方を全職員で検討していく必要がある。

家庭・地域との連携

22 家庭や地域との連携協力

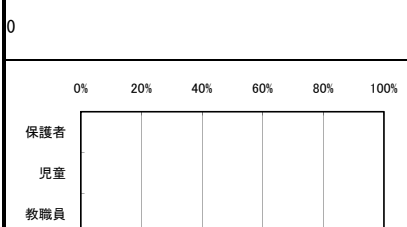
学校は、家庭や地域と連携・協力しながら教育活動を進めていると思いますか。



【学校から】○児童の安全のために、地域の方（もったいない隊・防犯協会・安全協会等）には安全パトロール等でも協力していただいている。また、緑化活動では、定期的に苗作りや草取り等で地域の方が進んでお手伝いをしてくださり、校舎の環境がより楽しくなっている。
○年1回は、地域への行事に職員が参加して交流を行っていききたい。

(学校独自)

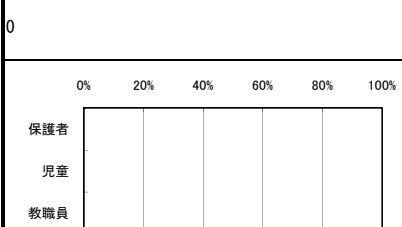
23 0



【学校から】

(学校独自)

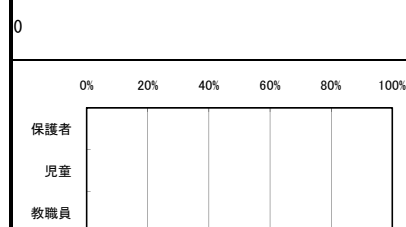
24 0



【学校から】

(学校独自)

25 0



【学校から】

来年度の具体的な取り組みについて

○教科指導においては、教師の授業力向上を目指して本年度と同様に一人1回の公開授業を校内研修計画に位置づける。また、総合的な学習においては、地域人材をもっと活用し、地域の方から学ぶ機会を増やすことで児童と地域のつながりをもっと深めていくようにする。
○高学年による朝のボランティア活動はよき伝統となっており、全校的に広がりが出てきているので、来年度も「心がやげ月間」を要の時間として、児童の体験活動を継続していくようにする。
○特別支援教育については、特別支援教育コーディネーターを中心にして、困り感のある児童へよりきめ細やか支援ができるよう校内支援体制を一層整えていく。
○生徒指導・教育相談においては、“認め・励まし・伸ばす”ことが児童理解につながっていくことを折りあるごとに話題にしたり、校内での研修を重ねることで、教職員の意識改革と資質向上を図っていく。
○情報の公開・発信においては、学級懇談会への保護者の参加が少ないので、魅力ある学級懇談会のあり方を全職員で検討し、参加者を増やしていきたい。

学校関係者評価

○授業や生徒指導面では先生方ががんばっておられるので、家庭教育力が向上すればもっと教育効果が上がると思う。そのために、学校は家庭教育力が向上するようにもっと働きかけてほしい。
○ボランティア活動は、児童の心を磨くために大切である。今後も活動を続け、よき伝統を守ってほしい。
○地域は子どもたちをよりよく育てていこうと思っているので、もっと地域の人材を活用してほしい。いろいろなことに協力していきたい。